製品安全データシート

作成日 1995年4月5日
改定日 2009年10月27日
(第9版)

1.製品および会社情報

製品名	:	クリンバーC
製品コード	:	1149
会社名	:	株式会社コスモビューティー (旧 株式会社モクケン)
住所	:	大阪市此花区島屋4丁目3番43号
担当部門	:	研究部
電話番号	:	(06) 6460-3120
FAX番号	:	(06) 6460-0052
推奨用途及び使用上の制限	:	コンクリート床の表面洗浄
整理番号	:	1149-09G04

2.危険有害性の要約

重要危険有害性および影響 : 引火性ー引火により火災のおそれ

GHS分類

物理化学的危険性	:	引火性液体	区分3
健康に対する有害性	:	急性毒性 (経口)	区分外
	:	急性毒性 (経皮)	区分外
	:	急性毒性 (吸入・蒸気)	
	:	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	:	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分外
	:	呼吸器感作性	
	:	皮膚感作性	
	:	生殖細胞変異原性	区分外
	:	発がん性	区分2
	:	生殖毒性	区分2
	:	特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	区分3
	:	特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露)	区分外
	:	吸引性呼吸器有害性	区分1
環境に対する有害性	:	水生環境有害性 (急性)	
	:	水生環境有害性 (慢性)	

※ 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示 :



注意喚起語	:	危険
危険有害性情報	:	引火性液体および蒸気

皮膚刺激
発がんのおそれの疑い
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
呼吸器への刺激のおそれ
眠気やめまいのおそれ
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き
〔安全対策〕 ： 使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱/火花/裸火/高温のものから遠ざけること。-禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地すること/アースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明装置を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
取り扱い後はよく洗うこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。
〔応急措置〕 ： 皮膚（または髪）にかかった場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。
皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
特別な処置が必要である。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯/汚染の除去をすること。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合は無理に吐かせず直ちに医師に連絡すること。
〔保管〕 ： 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。
容器を密閉して保管すること。
〔廃棄〕 ： 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3.組成および成分情報

単一化学物質・混合物の区別 ： 混合物

組成および含有量

化学名または一般名	含有量（%）	PRTR法(1	化審法(2	安衛法(3	CAS No.
灯油	94	ー	(9)-1702	No.380	8008-20-6
キシレン（灯油中の含有分）	(0.9)				
ポリ（オキシエチレン）＝ノニルフェニルエーテル	6.0	第1種410	(7)-172	ー	9016-45-9

(1 化学物質排出把握管理促進法 新規指定化学物質 官報公示整理番号（平成21年10月1日改正）
(2 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 官報公示整理番号
(3 労働安全衛生法 第57条の2 通知対象物質 政令番号
ー：該当しない
*：対象となる濃度下限値（裾切値）未満のため該当しない

4.応急措置

吸入した場合	： 被災者を空気の新鮮な場所に移動させ安静にし、直ちに医師の処置を受ける。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	： 多量の水および石鹸で洗い流す。水泡、痛みなどの症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合	： 眼を擦らず直ちに清浄な水で15分間以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易外せる場合は外して洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合	： 口をすすぎ、直ちに医師に連絡をすること。 無理に吐かせないこと。

5.火災時の措置

消火剤	： 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂 初期火災には粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。 大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。
使ってはならない消火剤	： 冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	： 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。作業の際には消火用保護具を着用する。 作業の際には保護具(保護眼鏡、保護手袋、保護マスク)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、蒸気を吸い込まないようにする。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。 風上から作業し、風下の人を退避させる。 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
環境に対する注意事項	： 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
除去方法	： 全ての着火源を速やかに取り除き漏出箇所の漏れを止める。 危険地域より人を退避させる。危険地域の周辺には、ロープを張り人の立ち入りを禁止する。 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。 大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。 室内で漏出した場合は窓・ドアを開けて十分に換気を行う。
二次災害防止法	： 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。 火花を発生しない安全な用具を使用する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	： 取扱いは換気のよい場所で行うこと。 熱、火花、裸火、高温のものから遠ざけること。ー禁煙

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

保護手袋及び保護眼鏡を着用すること。

指定数量以上の量を取扱う場合には、法で定められた基準を満たす製造所、貯蔵所、取扱所で行う。

容器を転倒、落下させ、衝撃を与え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。

火気厳禁

局所排気・全体換気 : 取扱う場合は、局所排気内、または全体換気の設備のある場所で取扱う。

安全取扱い注意事項 : 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

保管

適切な保管条件 : 直射日光を避け、換気のよい場所で容器を密閉し保管すること。
熱/火花/裸火/高温の着火源から遠ざけること。

安全な容器包装材料 : 開栓した容器で再び保管する時は、密栓をよく確かめること。
容器は溶接、加熱、穴あけ又は切断しない。爆発を伴って残留物が発火することがある。

8.暴露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱いについては、全体換気装置を設置した場所で行う。
取り扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 : 設定されていない
ACGIH : 設定されていない

保護具

呼吸器の保護具 : 防毒マスク(有機ガス用)を使用する。
手の保護具 : 耐油・耐溶剤手袋を使用する。
眼の保護具 : 保護眼鏡を使用する。
皮膚及び身体の保護具 : 耐油耐薬品性の保護前掛け、長靴を使用する。

9.物理的及び化学的性質

外観 : 無色透明液体
臭い : 石油臭
pH : 測定できない
融点・凝固点 : データなし
沸点、初留点と沸騰範囲 : データなし
引火点(セタ密閉式) : 40-75℃
自然発火温度 : データなし
燃焼又は爆発範囲 下限、上限 : 0.7-6vol%
比重(25℃) : 0.80(代表値)

溶解性	：	水に希釈すると乳化する。
分解温度	：	データなし

10.安定性及び反応性

安定性	：	通常の条件では安定。
危険有害反応可能性	：	強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件	：	現在のところ有用な情報なし。
混触危険物質	：	ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないよう注意する。
危険有害な分解生成物	：	燃焼の際は、煙、一酸化炭素、亜硫酸ガスなどが生成される。

11.有害性情報

急性毒性	：	情報なし
皮膚腐食性/刺激性	：	何度も繰り返し、もしくは長時間接触すると、皮膚の脱脂及び乾燥をもたらし、刺激を生じ皮膚炎を起こすこともある。
眼に対する重篤な損傷/刺激性	：	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：	情報なし
生殖細胞変異原性	：	情報なし
発がん性	：	発がん性のおそれの疑いがある。
生殖毒性	：	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑いがある。
特定標的臓器／全身毒性－単回曝露	：	高濃度の蒸気やミストの吸入は、呼吸器官を刺激し、頭痛、めまい、麻痺、眠気、意識不明のような症状を引き起こしたり、中枢神経に影響を与えることがある。
特定標的臓器／全身毒性－反復曝露	：	ミストを長期間、過度に吸入すると、肺に慢性的な炎症を起こし肺動脈線維症となることがある。
吸引性呼吸器有害性	：	情報なし
その他の情報	：	情報なし

12.環境影響情報

情報なし

13.廃棄上の注意

内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

14.輸送上の注意

国際規制

国連分類	：	クラス3：引火性液体
国連番号	：	1233
品名（国連輸送名）	：	灯油
容器等級	：	III

国内規制

陸上輸送	：	消防法、労働安全衛生法に定められた輸送方法に従う。
海上輸送	：	船舶安全法に定められた輸送方法に従う。
航空輸送	：	航空法に定められた輸送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件	:	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 引火性液体なので「火気厳禁」 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
緊急時応急措置指針番号	:	128

15.適用法令

化学物質排出把握管理促進法(平成21年10月1日施行)	:	第1種指定化学物質　政令番号　第410号 [ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル] 6.0%
労働安全衛生法		
危険物	:	施行令別表第1危険物(引火性の物)
有機溶剤中毒予防規則	:	非該当
表示対象物質	:	[キシレン]
第57条の2第1項 通知対象物	:	No.380 [灯油]
毒物及び劇物取締法	:	非該当
消防法	:	第4類第2石油類(非水溶性)

16.その他の情報

記載内容の取扱い

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータの評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いします。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。

記載内容の問合せ先	:	株式会社コスモビューティー　研究部 電話番号 (06) 6460-3120 FAX番号 (06) 6460-0052